

# 野球人京都

発行  
京都野球協会  
事務局 / 京都市右京区西京極畔勝町15  
集建産業株式会社内  
TEL: 075-314-3288  
FAX: 075-314-3310

## 木材・銘木卸・建築業 集建産業株式会社

京都市右京区西京極畔勝町15

## 2016 総会報告

二月二十六日に新・都ホテルに於いて定期総会が六十六名の出席の下、開催された。



三回京都野球殿堂五名の報告等も全て満場一致で承認された。

三回京都野球殿堂五名の報告等も全て満場一致で承認された。

最後に山下副会長の閉会挨拶で盛会のうちに散会となった。

ご来賓紹介(徳廣様、福林様を)

鈴木哲法 京都新聞社運動部長

橋本栄一 読売新聞京都総局長

村山嘉男 関西学生野球連盟理事長

池永修紀雄 関西六大学野球連盟理事長

今江光宏 京滋大学野球連盟副理事長

中本 博 京都軟式野球連盟理事長

続いて、田中理事の司会、乾会長の議長にて議事に入り、平成二十七年事業報告、収支決算報告等が全て満場一致で承認された。

役員の移動の報告、二十八年度事業計画、予算、第一回の顕彰者五名は以下の通りです。

次に第八十八回選抜野球大会に出場する龍谷大学付属平安高校に激励の記念品が授与された。

二部の懇親会に入り行理事の司会で乾会長の挨拶、来賓の京都府文化環境部スポーツ振興課長の徳廣部、京都市文化市民局ス剛様、京都市文化市民局ス

十五勝をあげた。昭二十六年には十四勝二敗で最高勝率のタイトルを獲得、現役引退後はコーチ、スカウトとして人材発掘に力を注いだ。

二、高校野球功労者

③西村進一(大八〜平十八) 平安中学で八季連続甲子園出場の内野手。立命館大学を中退して名古屋軍へ入団。昭十八年に招集され戦地で右手首を失い選手生命を絶たれた。

昭二十三年平安高校の監督に就任。義手にボールをのせて左手一本でノックする姿は「隻腕のノッカー」として話題になる。熱血指導が結果し昭二十六年、第三十三回夏の甲子園で優勝。その後、龍谷大学、社会人などで監督を続けた。

④富樫 淳(大十三〜昭

六一) 戦争によって中断されていた甲子園大会だが、昭十七年、後に「幻の甲子園」と呼ばれる中等学校選手権で剛速球投手として平安中学を率い優勝し、法政大学を経て大阪タイガースに入団。

三、特別功労者

⑤鈴鹿 栄(明二〜昭三三) 京都市立京都商業学校(現 西京高校)出身。大五年、京都市の小学校先生たちが中心となって結成した「京都少年野球研究会」に参加。翌年には「児童適用ゴムマリベースボール」というルールブックを作る。

ゴムボールも試作し、体に当たっても痛くないボールを改良を重ね大七年、小学生に適用した安全で安価なボールを完成。十一年には大人用も製品化に近づけた。軟式野球の普及と発展に貢献し、十五年日本野球殿堂入りを果たす。

尚、現在は榎木 寛副会長を会長代行として運営しています。

◆平成二十八年年度事業報告

役員会開催 十二回

機関紙「野球人京都」第三十六号 発行

○五百歳野球開会式出席

○総会並びに懇親会開催

◆京都野球協会の主な活動年表

設立までの経緯は前号に記載したので、今回はそれ以降の主な活動を年順に記述します。

○京都野球協会 創立(三月)

初代会長 森下 弘

初代理事長 村添英一

事務局 日本新薬(株)内

○協会報「野球人京都」(五月)

○シンボルマーク策定

○全国大会出場高の高校、社会人チームに激励金の贈呈開始

○京都市中学大会優勝チームにレプリカの贈呈開始

二代理事長 富田 義雄

○少年野球指導者技術指導、審判講習会開始

○高校野球を学ぶ会開催

○一野球より相対会が充実

○少年野球指導者対象

○西京極球場「ケラウンド整備事業を完了

○第一回学童野球フェスティバル開催

○第一回京都府古く歳野球大会開催(優勝カワノ)

○二代理事長 阿萬英昭

○開設六十周年の西京極球場スコアボード電光掲示板工事の金銭支援

○第一回京都野球祭開催(創立十五周年記念事業)

○三代目会長 小林祥一(日本電気化学工業(株)社長)

○三代目理事長 竹中清二(創立三十周年記念事業)

○京都野球殿堂委員会発足(創立三十周年記念事業)

○西京極球場の管理業務委託(西二十七 受託終了)

○四代理事長 乾康之助(集建産業(株)社長)

○四代理事長 原田光

○京都野球殿堂第一回顕彰者除幕式

○第二十四回全京都大学野球トーナメント大会

優勝 同志社大学

準優勝 京都産業大学

ベスト4 京都大学

京都教育大学

○京都リトルシニア野球大会

東海、北陸、近畿から二十八チームが出場。京都からの六チームが京都リトルシニアが四強に入った。

○ニチダイの少年野球教室

○全国大会出場チームへの講習会

京都又は近畿代表として全国大会に出場した以下のチームにお祝いと激励をかねた金品を贈る

一、センバツ 平安高校

二、大学選手権 立命館大学

三、都市対抗 花園大

四、高校選手権 京都翔英高

五、中学全国大会 桂中学校

第八回五百歳野球秋の交流戦決勝(後記)

第二十九回学童野球フェスティバル決勝(前記)

第六十六回京都市中学校秋季大会決勝を快晴の下開催、花山中学が桂中学を1対0で破り初優勝に輝く。続く府下大会に両チームが進出した。(結果は後記)

○第二回硬式野球入門教室

昨年よりも多い六十名の参加者で、八月二日より十二月三日までに十回開催。今回は島津製作所野球部、又新たに京都教育大野球部の協力を得て、実施した。

その後も第四回の選考に向けて会議を重ねている。

2016新入会員

賛助会員

(株)東邦

一般社団法人女子プロ野球機構

(株)アイアムダスキンフクエ

東宝企画工業(株)

個人

塚本 宏 森 和彦

小柏 毅 山口 敦

羽田哲也 青地 寛

上野昌樹 秋山豊廣

森原 徹 飯田 勤

山田健嗣 田中美保子

上田佐久男 松尾賢二

乾康之助氏

米田貞一郎氏

ご冥福をお祈り申し上げます。

京都野球殿堂委員会

六月十八日に第三回の顕彰者パネル除幕式を門川大作京都市長をはじめ多数のご来賓をお迎えして盛大に開催した。

その後も第四回の選考に向けて会議を重ねている。

○第二回硬式野球入門教室

昨年よりも多い六十名の参加者で、八月二日より十二月三日までに十回開催。今回は島津製作所野球部、又新たに京都教育大野球部の協力を得て、実施した。

その後も第四回の選考に向けて会議を重ねている。

◆京都府野球連盟◆

企業チーム三、クラブチーム十一、四四七名が登録しています。

○第七十一回東京スポニチ大会

野球シーズンの開幕を飾る同大会に出場の日本新薬が、明治安田生命、東芝、西濃運輸に続きJR東日本東北、新日鐵住金かずさマジックをも破り初優勝。これによって秋の日本選手権出場の特権を得た。

又、三十二チーム出場の西日本大会では京都オールディーズが二年連続のV。

(還暦の部)

六十歳以上が選手資格で十三チーム三二六名が春秋総当りのリーグ戦で競う。

○第三十二回全日本選手権

六十四チーム出場の大会で京都シニアスターズ(前年京都戦績一位)が堂々三位に。京都クラブ(同二位)は初戦にて敗退した。

川印刷(株)を破り、又SECカノン(株)は前年度本大会優勝チームということで二チームが本戦に出場するもスピードラゴンズは初戦で、SECカノンは二回戦で各々惜敗する。

B級

○高松宮賜杯第六十回

全国大会一部

IGA Y Aダイナマイツがリップバンクスを破って近畿大会へ。和歌山チームに快勝し本戦に出場。初戦突破も二回戦で熊本チームに屈する。

C級

○高松宮賜杯第六十回

全国大会一部

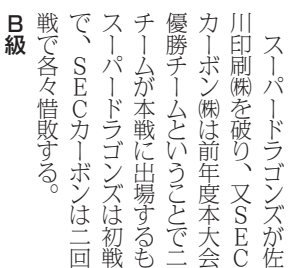
B.ダイナマイツがKiil-Timeに勝ち近畿予選へ出場も和歌山チームに破れ本戦への出場成らず。

S級

○日本スポーツマスターズ

二〇二六

京都誠倶楽部が綾部スパスターズを、近畿大会でも滋賀チームを破り三十二チーム出場の本大会へ。初戦、鳥取チームを破るも二回戦で福島チームに惜敗する。



シニアスターズ

○第二十四回全京都大学野球トーナメント大会

優勝 同志社大学

準優勝 京都産業大学

ベスト4 京都大学

京都教育大学

○京都リトルシニア野球大会

東海、北陸、近畿から二十八チームが出場。京都からの六チームが京都リトルシニアが四強に入った。

○ニチダイの少年野球教室

○全国大会出場チームへの講習会

京都又は近畿代表として全国大会に出場した以下のチームにお祝いと激励をかねた金品を贈る

一、センバツ 平安高校

二、大学選手権 立命館大学

三、都市対抗 花園大

四、高校選手権 京都翔英高

五、中学全国大会 桂中学校

第八回五百歳野球秋の交流戦決勝(後記)

第二十九回学童野球フェスティバル決勝(前記)

第六十六回京都市中学校秋季大会決勝を快晴の下開催、花山中学が桂中学を1対0で破り初優勝に輝く。続く府下大会に両チームが進出した。(結果は後記)

○第二回硬式野球入門教室

昨年よりも多い六十名の参加者で、八月二日より十二月三日までに十回開催。今回は島津製作所野球部、又新たに京都教育大野球部の協力を得て、実施した。

その後も第四回の選考に向けて会議を重ねている。

◆平成二十八年年度事業報告

役員会開催 十二回

機関紙「野球人京都」第三十六号 発行

○五百歳野球開会式出席

○総会並びに懇親会開催

◆京都野球協会の主な活動年表

設立までの経緯は前号に記載したので、今回はそれ以降の主な活動を年順に記述します。

○京都野球協会 創立(三月)

初代会長 森下 弘

初代理事長 村添英一

事務局 日本新薬(株)内

○協会報「野球人京都」(五月)

○シンボルマーク策定

○全国大会出場高の高校、社会人チームに激励金の贈呈開始

○京都市中学大会優勝チームにレプリカの贈呈開始

二代理事長 富田 義雄

○少年野球指導者技術指導、審判講習会開始

○高校野球を学ぶ会開催

○一野球より相対会が充実

○少年野球指導者対象

○西京極球場「ケラウンド整備事業を完了

○第一回学童野球フェスティバル開催

○第一回京都府古く歳野球大会開催(優勝カワノ)

○二代理事長 阿萬英昭

○開設六十周年の西京極球場スコアボード電光掲示板工事の金銭支援

○第一回京都野球祭開催(創立十五周年記念事業)

○京都野球殿堂委員会発足(創立三十周年記念事業)

○西京極球場の管理業務委託(西二十七 受託終了)

○四代理事長 乾康之助(集建産業(株)社長)

○四代理事長 原田光

○京都野球殿堂第一回顕彰者除幕式

○第二十四回全京都大学野球トーナメント大会

優勝 同志社大学

準優勝 京都産業大学

ベスト4 京都大学

京都教育大学

○京都リトルシニア野球大会

東海、北陸、近畿から二十八チームが出場。京都からの六チームが京都リトルシニアが四強に入った。

○ニチダイの少年野球教室

○全国大会出場チームへの講習会

京都又は近畿代表として全国大会に出場した以下のチームにお祝いと激励をかねた金品を贈る

一、センバツ 平安高校

二、大学選手権 立命館大学

三、都市対抗 花園大

四、高校選手権 京都翔英高

五、中学全国大会 桂中学校

第八回五百歳野球秋の交流戦決勝(後記)

第二十九回学童野球フェスティバル決勝(前記)

第六十六回京都市中学校秋季大会決勝を快晴の下開催、花山中学が桂中学を1対0で破り初優勝に輝く。続く府下大会に両チームが進出した。(結果は後記)

○第二回硬式野球入門教室

昨年よりも多い六十名の参加者で、八月二日より十二月三日までに十回開催。今回は島津製作所野球部、又新たに京都教育大野球部の協力を得て、実施した。

その後も第四回の選考に向けて会議を重ねている。

◆京都府野球連盟◆

企業チーム三、クラブチーム十一、四四七名が登録しています。

○第七十一回東京スポニチ大会

野球シーズンの開幕を飾る同大会に出場の日本新薬が、明治安田生命、東芝、西濃運輸に続きJR東日本東北、新日鐵住金かずさマジックをも破り初優勝。これによって秋の日本選手権出場の特権を得た。

又、三十二チーム出場の西日本大会では京都オールディーズが二年連続のV。

(還暦の部)

六十歳以上が選手資格で十三チーム三二六名が春秋総当りのリーグ戦で競う。

○第三十二回全日本選手権

六十四チーム出場の大会で京都シニアスターズ(前年京都戦績一位)が堂々三位に。京都クラブ(同二位)は初戦にて敗退した。

川印刷(株)を破り、又SECカノン(株)は前年度本大会優勝チームということで二チームが本戦に出場するもスピードラゴンズは初戦で、SECカノンは二回戦で各々惜敗する。

B級

○高松宮賜杯第六十回

全国大会一部

IGA Y Aダイナマイツがリップバンクスを破って近畿大会へ。和歌山チームに快勝し本戦に出場。初戦突破も二回戦で熊本チームに屈する。

C級

○高松宮賜杯第六十回

全国大会一部

B.ダイナマイツがKiil-Timeに勝ち近畿予選へ出場も和歌山チームに破れ本戦への出場成らず。

S級

○日本スポーツマスターズ

二〇二六

京都誠倶楽部が綾部スパスターズを、近畿大会でも滋賀チームを破り三十二チーム出場の本大会へ。初戦、鳥取チームを破るも二回戦で福島チームに惜敗する。

京都オールディーズ

○第二十四回全京都大学野球トーナメント大会

優勝 同志社大学

準優勝 京都産業大学

ベスト4 京都大学

京都教育大学

○京都リトルシニア野球大会

東海、北陸、近畿から二十八チームが出場。京都からの六チームが京都リトルシニアが四強に入った。

○ニチダイの少年野球教室

○全国大会出場チームへの講習会

京都又は近畿代表として全国大会に出場した以下のチームにお祝いと激励をかねた金品を贈る

一、センバツ 平安高校

二、大学選手権 立命館大学

三、都市対抗 花園大

四、高校選手権 京都翔英高

五、中学全国大会 桂中学校

第八回五百歳野球秋の交流戦決勝(後記)

第二十九回学童野球フェスティバル決勝(前記)

第六十六回京都市中学校秋季大会決勝を快晴の下開催、花山中学が桂中学を1対0で破り初優勝に輝く。続く府下大会に両チームが進出した。(結果は後記)

○第二回硬式野球入門教室

昨年よりも多い六十名の参加者で、八月二日より十二月三日までに十回開催。今回は島津製作所野球部、又新たに京都教育大野球部の協力を得て、実施した。

その後も第四回の選考に向けて会議を重ねている。

◆平成二十八年年度事業報告

役員会開催 十二回

機関紙「野球人京都」第三十六号 発行

○五百歳野球開会式出席

○総会並びに懇親会開催

◆京都野球協会の主な活動年表

設立までの経緯は前号に記載したので、今回はそれ以降の主な活動を年順に記述します。

○京都野球協会 創立(三月)

初代会長 森下 弘

初代理事長 村添英一

事務局 日本新薬(株)内

○協会報「野球人京都」(五月)

○シンボルマーク策定

○全国大会出場高の高校、社会人チームに激励金の贈呈開始

○京都市中学大会優勝チームにレプリカの贈呈開始

二代理事長 富田 義雄

○少年野球指導者技術指導、審判講習会開始

○高校野球を学ぶ会開催

○一野球より相対会が充実

○少年野球指導者対象

○西京極球場「ケラウンド整備事業を完了

○第一回学童野球フェスティバル開催

○第一回京都府古く歳野球大会開催(優勝カワノ)

○二代理事長 阿萬英昭

○開設六十周年の西京極球場スコアボード電光掲示板工事の金銭支援

○第一回京都野球祭開催(創立十五周年記念事業)

○京都野球殿堂委員会発足(創立三十周年記念事業)

○西京極球場の管理業務委託(西二十七 受託終了)

○四代理事長 乾康之助(集建産業(株)社長)

○四代理事長 原田光

○京都野球殿堂第一回顕彰者除幕式

○第二十四回全京都大学野球トーナメント大会

優勝 同志社大学

準優勝 京都産業大学

ベスト4 京都大学

京都教育大学

○京都リトルシニア野球大会

東海、北陸、近畿から二十八チームが出場。京都からの六チームが京都リトルシニアが四強に入った。

○ニチダイの少年野球教室

○全国大会出場チームへの講習会

京都又は近畿代表として全国大会に出場した以下のチームにお祝いと激励をかねた金品を贈る

一、センバツ 平安高校

二、大学選手権 立命館大学

三、都市対抗 花園大

四、高校選手権 京都翔英高

五、中学全国大会 桂中学校

第八回五百歳野球秋の交流戦決勝(後記)

第二十九回学童野球フェスティバル決勝(前記)

第六十六回京都市中学校秋季大会決勝を快晴の下開催、花山中学が桂中学を1対0で破り初優勝に輝く。続く府下大会に両チームが進出した。(結果は後記)

○第二回硬式野球入門教室

昨年よりも多い六十名の参加者で、八月二日より十二月三日までに十回開催。今回は島津製作所野球部、又新たに京都教育大野球部の協力を得て、実施した。

その後も第四回の選考に向けて会議を重ねている。

◆京都府野球連盟◆

企業チーム三、クラブチーム十一、四四七名が登録しています。

○第七十一回東京スポニチ大会

野球シーズンの開幕を飾る同大会に出場の日本新薬が、明治安田生命、東芝、西濃運輸に続きJR東日本東北、新日鐵住金かずさマジックをも破り初優勝。これによって秋の日本選手権出場の特権を得た。

又、三十二チーム出場の西日本大会では京都オールディーズが二年連続のV。

(還暦の部)

六十歳以上が選手資格で十三チーム三二六名が春秋総当りのリーグ戦で競う。

○第三十二回全日本選手権

六十四チーム出場の大会で京都シニアスターズ(前年京都戦績一位)が堂々三位に。京都クラブ(同二位)は初戦にて敗退した。

川印刷(株)を破り、又SECカノン(株)は前年度本大会優勝チームということで二チームが本戦に出場するもスピードラゴンズは初戦で、SECカノンは二回戦で各々惜敗する。

B級

○高松宮賜杯第六十回

全国大会一部

IGA Y Aダイナマイツがリップバンクスを破って近畿大会へ。和歌山チームに快勝し本戦に出場。初戦突破も二回戦で熊本チームに屈する。

C級

○高松宮賜杯第六十回

全国大会一部

B.ダイナマイツがKiil-Timeに勝ち近畿予選へ出場も和歌山チームに破れ本戦への出場成らず。

S級

○日本スポーツマスターズ

二〇二六

京都誠倶楽部が綾部スパスターズを、近畿大会でも滋賀チームを破り三十二チーム出場の本大会へ。初戦、鳥取チームを破るも二回戦で福島チームに惜敗する。

京都オールディーズ

○第二十四回全京都大学野球トーナメント大会

優勝 同志社大学

準優勝 京都産業大学

ベスト4 京都大学

京都教育大学

○京都リトルシニア野球大会

東海、北陸、近畿から二十八チームが出場。京都からの六チームが京都リトルシニアが四強に入った。

○ニチダイの少年野球教室

○全国大会出場チームへの講習会

京都又は近畿代表として全国大会に出場した以下のチームにお祝いと激励をかねた金品を贈る

一、センバツ 平安高校

二、大学選手権 立命館大学

三、都市対抗 花園大

四、高校選手権 京都翔英高

五、中学全国大会 桂中学校

第八回五百歳野球秋の交流戦決勝(後記)

第二十九回学童野球フェスティバル決勝(前記)

第六十六回京都市中学校秋季大会決勝を快晴の下開催、花山中学が桂中学を1対0で破り初優勝に輝く。続く府下大会に両チームが進出した。(結果は後記)

○第二回硬式野球入門教室

昨年よりも多い六十名の参加者で、八月二日より十二月三日までに十回開催。今回は島津製作所野球部、又新たに京都教育大野球部の協力を得て、実施した。

その後も第四回の選考に向けて会議を重ねている。

◆平成二十八年年度事業報告

役員会開催 十二回

機関紙「野球人京都」第三十六号 発行

○五百歳野球開会式出席

○総会並びに懇親会開催

◆京都野球協会の主な活動年表

設立までの経緯は前号に記載したので、今回はそれ以降の主な活動を年順に記述します。

○京都野球協会 創立(三月)

初代会長 森下 弘

初代理事長 村添英一

事務局 日本新薬(株)内

○協会報「野球人京都」(五月)

○シンボルマーク策定

○全国大会出場高の高校、社会人チームに激励金の贈呈開始

○京都市中学大会優勝チームにレプリカの贈呈開始

二代理事長 富田 義雄

○少年野球指導者技術指導、審判講習会開始

○高校野球を学ぶ会開催

○一野球より相対会が充実

○少年野球指導者対象

○西京極球場「ケラウンド整備事業を完了

○第一回学童野球フェスティバル開催

○第一回京都府古く歳野球大会開催(優勝カワノ)

○二代理事長 阿萬英昭

○開設六十周年の西京極球場スコアボード電光掲示板工事の金銭支援

○第一回京都野球祭開催(創立十五周年記念事業)

○京都野球殿堂委員会発足(創立三十周年記念事業)

○西京極球場の管理業務委託(西二十七 受託終了)

○四代理事長 乾康之助(集建産業(株)社長)

○四代理事長 原田光

○京都野球殿堂第一回顕彰者除幕式

○第二十四回全京都大学野球トーナメント大会

優勝 同志社大学

準優勝 京都産業大学

ベスト4 京都大学

京都教育大学

○京都リトルシニア野球大会

東海、北陸、近畿から二十八チームが出場。京都からの六チームが京都リトルシニアが四強に入った。

○ニチダイの少年野球教室

○全国大会出場チームへの講習会

京都又は近畿代表として全国大会に出場した以下のチームにお祝いと激励をかねた金品を贈る

一、センバツ 平安高校

二、大学選手権 立命館大学

三、都市対抗 花園大

四、高校選手権 京都翔英高

五、中学全国大会 桂中学校

第八回五百歳野球秋の交流戦決勝(後記)

第二十九回学童野球フェスティバル決勝(前記)

第六十六回京都市中学校秋季大会決勝を快晴の下開催、花山中学が桂中学を1対0で破り初優勝に輝く。続く府下大会に両チームが進出した。(結果は後記)

○第二回硬式野球入門教室

昨年よりも多い六十名の参加者で、八月二日より十二月三日までに十回開催。今回は島津製作所野球部、又新たに京都教育大野球部の協力を得て、実施した。

その後も第四回の選考に向けて会議を重ねている。

◆京都府野球連盟◆

企業チーム三、クラブチーム十一、四四七名が登録しています。

○第七十一回東京スポニチ大会

野球シーズンの開幕を飾る同大会に出場の日本新薬が、明治安田生命、東芝、西濃運輸に続きJR東日本東北、新日鐵住金かずさマジックをも破り初優勝。これによって秋の日本選手権出場の特権を得た。

又、三十二チーム出場の西日本大会では京都オールディーズが二年連続のV。

(還暦の部)

六十歳以上が選手資格で十三チーム三二六名が春秋総当りのリーグ戦で競う。

○第三十二回全日本選手権

六十四チーム出場の大会で京都シニアスターズ(前年京都戦績一位)が堂々三位に。京都クラブ(同二位)は初戦にて敗退した。

川印刷(株)を破り、又SECカノン(株)は前年度本大会優勝チームということで二チームが本戦に出場するもスピードラゴンズは初戦で、SECカノンは二回戦で各々惜敗する。

B級

○高松宮賜杯第六十回

全国大会一部

IGA Y Aダイナマイツがリップバンクスを破って近畿大会へ。和歌山チームに快勝し本戦に出場。初戦突破も二回戦で熊本チームに屈する。

C級

○高松宮賜杯第六十回

全国大会一部

B.ダイナマイツがKiil-Timeに勝ち近畿予選へ出場も和歌山チームに破れ本戦への出場成らず。

S級

○日本スポーツマスターズ

二〇二六

京都誠倶楽部が綾部スパスターズを、近畿大会でも滋賀チームを破り三十二チーム出場の本大会へ。初戦、鳥取チームを破るも二回戦で福島チームに惜敗する。

京都オールディーズ

○第二十四回全京都大学野球トーナメント大会

優勝 同志社大学

準優勝 京都産業大学

ベスト4 京都大学

京都教育大学

○京都リトルシニア野球大会

東海、北陸、近畿から二十八チームが出場。京都からの六チームが京都リトルシニアが四強に入った。

○ニチダイの少年野球教室

○全国大会出場チームへの講習会

京都又は近畿代表として全国大会に出場した以下のチームにお祝いと激励をかねた金品を贈る

一、センバツ 平安高校

二、大学選手権 立命館大学

三、都市対抗 花園大

四、高校選手権 京都翔英高

五、中学全国大会 桂中学校

第八回五百歳野球秋の交流戦決勝(後記)

第二十九回学童野球フェスティバル決勝(前記)

第六十六回京都市中学校秋季大会決勝を快晴の下開催、花山中学が桂中学を1対0で破り初優勝に輝く。続く府下大会に両チームが進出した。(結果は後記)

○第二回硬式野球入門教室

昨年よりも多い六十名の参加者で、八月二日より十二月三日までに十回開催。今回は島津製作所野球部、又新たに京都教育大野球部の協力を得て、実施した。

その後も第四回の選考に向けて会議を重ねている。

◆平成二十八年年度事業報告

役員会開催 十二回

機関紙「野球人京都」第三十六号 発行

○五百歳野球開会式出席

○総会並びに懇親会開催

◆京都野球協会の主な活動年表

設立までの経緯は前号に記載したので、今回はそれ以降の主な活動を年順に記述します。

○京都野球協会 創立(三月)

初代会長 森下 弘

初代理事長 村添英一

事務局 日本新薬(株)内

○協会報「野球人京都」(五月)

○シンボルマーク策定

○全国大会出場高の高校、社会人チームに激励金の贈呈開始

○京都市中学大会優勝チームにレプリカの贈呈開始

二代理事長 富田 義雄

○少年野球指導者技術指導、審判講習会開始

○高校野球を学ぶ会開催

○一野球より相対会が充実

○少年野球指導者対象

○西京極球場「ケラウンド整備事業を完了

○第一回学童野球フェスティバル開催

○第一回京都府古く歳野球大会開催(優勝カワノ)

○二代理事長 阿萬英昭

○開設六十周年の西京極球場スコアボード電光掲示板工事の金銭支援

○第一回京都野球祭開催(創立十五周年記念事業)

○京都野球殿堂委員会発足(創立三十周年記念事業)

○西京極球場の管理業務委託(西二十七 受託終了)

○四代理事長 乾康之助(集建産業(株)社長)

○四代理事長 原田光

○京都野球殿堂第一回顕彰者除幕式

○第二十四回全京都大学野球トーナメント大会

優勝 同志社大学

準優勝 京都産業大学

ベスト4 京都大学

京都教育大学

○京都リトルシニア野球大会

東海、北陸、近畿から二十八チームが出場。京都からの六チームが京都リトルシニアが四強に入った。

○ニチダイの少年野球教室

○全国大会出場チームへの講習会

京都又は近畿代表として全国大会に出場した以下のチームにお祝いと激励をかねた金品を贈る

一、センバツ 平安高校

二、大学選手権 立命館大学

三、都市対抗 花園大

四、高校選手権 京都翔英高

五、中学全国大会 桂中学校

第八回五百歳野球秋の交流戦決勝(後記)

第二十九回学童野球フェスティバル決勝(前記)

第六十六回京都市中学校秋季大会決勝を快晴の下開催、花山中学が桂中学を1対0で破り初優勝に輝く。続く府下大会に両チームが進出した。(結果は後記)

○第二回硬式野球入門教室

昨年よりも多い六十名の参加者で、八月二日より十二月三日までに十回開催。今回は島津製作所野球部、又新たに京都教育大野球部の協力を得て、実施した。

その後も第四回の選考に向けて会議を重ねている。

◆京都府野球連盟◆

企業チーム三、クラブチーム十一、四四七名が登録しています。

○第七十一回東京スポニチ大会

野球シーズンの開幕を飾る同大会に出場の日本新薬が、明治安田生命、東芝、西濃運輸に続きJR東日本東北、新日鐵住金かずさマジックをも破り初優勝。これによって秋の日本選手権出場の特権を得た。

又、三十二チーム出場の西日本大会では京都オールディーズが二年連続のV。

(還暦の部)

六十歳以上が選手資格で十三チーム三二六名が春秋総当りのリーグ戦で競う。

○第三十二回全日本選手権

六十四チーム出場の大会で京都シニアスターズ(前年京都戦績一位)が堂々三位に。京都クラブ(同二位)は初戦にて敗退した。

川印刷(株)を破り、又SECカノン(株)は前年度本大会優勝チームということで二チームが本戦に出場するもスピードラゴンズは初戦で、SECカノンは二回戦で各々惜敗する。

B級

○高松宮賜杯第六十回

全国大会一部

IGA Y Aダイナマイツがリップバンクスを破って近畿大会へ。和歌山チームに快勝し本戦に出場。初戦突破も二回戦で熊本チームに屈する。

C級

○高松宮賜杯第六十回

全国大会一部

B.ダイナマイツがKiil-Timeに勝ち近畿予選へ出場も和歌山チームに破れ本戦への出場成らず。

S級

○日本スポーツマスターズ

二〇二六

京都誠倶楽部が綾部スパスターズを、近畿大会でも滋賀チームを破り三十二チーム出場の本大会へ。初戦、鳥取チームを破るも二回戦で福島チームに惜敗する。

京都オールディーズ

○第二十四回全京都大学野球トーナメント大会

優勝 同志社大学

準優勝 京都産業大学

ベスト4 京都大学

京都教育大学

○京都リトルシニア野球大会

東海、北陸、近畿から二十八チームが出場。京都からの六チームが京都リトルシニアが四強に入った。

○ニチダイの少年野球教室

○全国大会出場チームへの講習会

京都又は近畿代表として全国大会に出場した以下のチームにお祝いと激励をかねた金品を贈る

一、センバツ 平安高校

二、大学選手権 立命館大学

三、都市対抗 花園大

四、高校選手権 京都翔英高

五、中学全国大会 桂中学校

第八回五百歳野球秋の交流戦決勝(後記)

第二十九回学童野球フェスティバル決勝(前記)

第六十六回京都市中学校秋季大会決勝を快晴の下開催、花山中学が桂中学を1対0で破り初優勝に輝く。続く府下大会に両チームが進出した。(結果は後記)

○第二回硬式野球入門教室

昨年よりも多い六十名の参加者で、八月二日より十二月三日までに



大学野球

◆関西学生野球連盟◆
○春のリーグ戦
1 立命(大)
2 同関(大)
3 関大(大)
4 近京(大)
5 京大(大)
6 京大(大)

第六十五回全日本大学選手権に立命館大が三年連続十七回目の出場。南東北代表の東日本国際大に大勝するも二回戦で札幌地区代表の東海大北海道に破れる。



立命館大学

○秋のリーグ戦

- 1 立命(大)
2 同関(大)
3 関大(大)
4 近京(大)
5 京大(大)
6 京大(大)

◆関西六大学野球連盟◆
○春のリーグ戦
1 京産大(大)
2 大商大(大)
3 龍谷大(大)
4 龍谷大(大)
5 大経大(大)
6 神院大(大)

同率になり優勝決定戦で勝った京産大が三季振十一回目のV。五度目の全日本選手権へ出場も北東北代表の富士大学に逆転にて惜敗する。



京都産業大学

○秋のリーグ戦

- 1 大産大(大)
2 京産大(大)
3 龍谷大(大)
4 神院大(大)
5 大経大(大)
6 大経大(大)

◆京滋大学野球連盟◆
○春のリーグ戦
1 大関(大)
2 関大(大)
3 関大(大)
4 佛大(大)
5 佛大(大)
6 佛大(大)

(二・四位は同率ながら昨秋の順位にて決定)
前年秋、リーグ最下位だった花園大が、創部二十六年で初優勝を飾る。



花園大学

全日本選手権に出場も阪神リーグの関西国際大に延長十回、タイブレークの未借敗する。

入替戦は大谷大が一部残留を決める。

○秋のリーグ戦

- 1 大関(大)
2 関大(大)
3 関大(大)
4 佛大(大)
5 佛大(大)
6 佛大(大)

明治神宮大会出場をかけた関西地区大会(五連盟から二校が本大会進出)に学園大が出場したが敗退し二回目の出場成らず。

教育部が大谷大との入替え戦で二連勝し平成二十九年春のリーグ戦は一部に昇格。

◆硬式◆
○第六十八回全日本大学選手権大会

関西七リーグによる予選を経て京都からは府立医科大学(関西医歯薬大連盟)、京都産業大学(西都六大学連盟)、立命館大学(関西六大学連盟)が出場、京産大はベスト16、立命館大学が四強まで進出した。

◆硬式◆
○秋季関西大学

七リーグの代表校によって開催。同志社、龍谷、府立医科大学が対戦し、決勝で同志社が龍谷を破って優勝、府立医科大学は初戦で同志社に破れた。



立命館大学

全日本選手権に出場も阪神リーグの関西国際大に延長十回、タイブレークの未借敗する。

入替戦は大谷大が一部残留を決める。

○秋のリーグ戦

- 1 大関(大)
2 関大(大)
3 関大(大)
4 佛大(大)
5 佛大(大)
6 佛大(大)

明治神宮大会出場をかけた関西地区大会(五連盟から二校が本大会進出)に学園大が出場したが敗退し二回目の出場成らず。

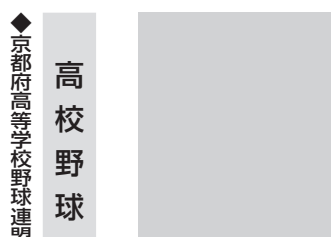
教育部が大谷大との入替え戦で二連勝し平成二十九年春のリーグ戦は一部に昇格。

◆硬式◆
○第三十三回西日本大会

西日本十連盟よりの二十校にて開催。立命館大が京都文教大、大阪体育大、福山成大、決勝では沖繩国際大も破り優勝に輝く。龍谷大は初戦で同志社大を破るが二回戦で、佛教大は初戦で敗退する。

◆硬式◆
○第八十八回センバツ大会

一昨秋の近畿大会で四強に入っていた龍谷大平安が四年連続四十回目の出場。明徳義塾、八戸学院光星、明石商と破り甲子園通算九十九勝にするも準決勝で智弁学園(奈良)に二対二で惜敗する。(智弁は初優勝を飾る)



立命館大学

京産大が塔南を破り初優勝、近畿大学に出場も初戦で智弁和歌山に破れる。

福知山成美を決勝で破った京都翔英が創部二十三年目で初の夏の甲子園に出場するも樟南(鹿児島)に破れる。

○秋の大会

東山が翔英を破り二十二年振り九回目の優勝。近畿大会出場は二十年振十三回目の東山、四年振二回目の翔英、京都大会三位の平安は五年連続三十回目となるも東山は報復に、翔英は智弁学園に又平安も大阪桐蔭にと三校とも初戦で敗退し九年連続したセンバツ出場が危ぶまれている。

※平安出身で大阪体育大から大阪ガスの酒居投手がロッテに、翔英の石原捕手が楽天に、又京都国際の清水外野手は育成としてソフトバンクに入団が決まる。

○第十七回全国高校選抜大会
十九校が出場の大会で両洋がベスト4まで進出したが西は二回戦で、成美は初戦で破れる。

○第二回西日本大会

両洋が高校、専門学校、大学チームを連破し四強に進出も環太平洋大に惜敗する。

◆硬式◆
○第六十二回全国選手権大会

平安が東山を破り五年振り三十五回の優勝、本大会進出をかけた、滋賀、奈良、和歌山の優勝校との近畿予選にのぞむも天理高校(後に全国大会優勝校)に破れ本大会出場はならず。

○秋の大会
東山が桃山を破り三年振り十五回目の優勝。近畿大会でも八尾(大阪)を破り四強も初芝富田林に延長十回タイブレークの未○対一で破れ決勝進出成らず。

◆京都府高等学校野球連盟◆
○秋季大会
朱雀高校が桃山高校を破り優勝。両校が第五十七回近畿大会へ出場し共にベスト4まで進出した。

○第六十三回全国大会
府大会優勝の朱雀が全国大会優勝を飾る。

◆女子硬式◆
○全国高等学校女子硬式野球連盟

福知山成美、京都外大西、京都両洋の三校一三三名がプレイしている。

○第二十四回全国高校選抜大会
府予選一位の京・相楽は一回戦で敗退したが、同二位の京都フレンド少年硬式野球協会はベスト8まで進出も神戸須磨クラブに破れる。

○第十七回全国高校選抜大会
十九校が出場の大会で両洋がベスト4まで進出したが西は二回戦で、成美は初戦で破れる。

○第二回西日本大会

両洋が高校、専門学校、大学チームを連破し四強に進出も環太平洋大に惜敗する。

◆硬式◆
○第二十二回全国選抜大会

四十八チーム出場の大会で関西連盟からの十チームに入った京都八幡リトルシニアが準優勝した宇都宮チームに初戦で惜敗する。

◆日本少年野球連盟
(ポイスリーグ)
現在、京都では十五チーム五五〇名がプレイしている。

○第四十六回春季全国大会
京都南山ポイスが府予選決勝で京都洛北ポイスを破り本大会に出場するも初戦、東京城南ポイスに敗退する。

○第四十七回全国選手権大会
京都東山ポイスが京都二条ポイスに勝ち春と同年の四八チーム出場の本大会へ。町田ポイスに勝つも御坊ポイスに惜敗。

◆全日本少年硬式野球連盟
(ヤングリーグ)

府内では九チーム二五〇名がプレイしている。

○第二十四回春季全国大会
前年の戦績から京都一位の京都ブラックズ野球協会と同二位の京・相楽硬式野球クラブが出場したが、共に初戦で敗退する。

○第二十四回全国選手権大会
府予選一位の京・相楽は一回戦で敗退したが、同二位の京都フレンド少年硬式野球協会はベスト8まで進出も神戸須磨クラブに破れる。

◆日本女子プロ野球に成美の森、西の星川、両洋の浅野の三選手が内定している。

現在、府内で九チーム二四五名がプレイしている。

◆硬式◆
○第四十六回春季全国大会

が福知山市の日新を三対二で破って優勝を飾る。

◆京都軟式野球連盟
二十三名チームがクラブチームとして活動している大会には中体連の上位チームも参加している。

○第三十三回全京都少年軟式野球選手権大会
京都ベアーズが西京ビッグスターズを破りV。近畿でも滋賀、大阪チームを連破し優勝を飾る。

○近畿少年秋季大会
(第九回大会長杯)
西京ビッグスターズが近畿へ進出し奈良の新庄中に勝ち(今春の全国大会出場権を得る)。門真ビッグドリームも破るも滋賀ユナイテッドに惜敗しV成らず。

◆京都府中学校体育連英◆
○第三十八回全国大会

江陽(丹後地区代表)綾部(中丹)、亀岡(口丹)、桂、嵯峨、花丹、双ヶ丘(京都)、広野、勝山(山城)、峰山(開成地、丹後二位)の十校で府代表を決める第百二十九回大会で、桂が勝山を破りV。

両校が近畿予選へ進出、勝山は初戦で敗れるも桂は松洋(和歌山)、西脇南(兵庫)、天理(奈良)を連破し見事初優勝。全国から二十五チーム出場の本大会へ初出場するも初戦で敗れる。

○第二十四回全国選手権大会
府予選一位の京・相楽は一回戦で敗退したが、同二位の京都フレンド少年硬式野球協会はベスト8まで進出も神戸須磨クラブに破れる。

◆日本リトルシニア

現在、府内で九チーム二四五名がプレイしている。

◆硬式◆
○第四十六回春季全国大会

が福知山市の日新を三対二で破って優勝を飾る。

◆京都軟式野球連盟
二十三名チームがクラブチームとして活動している大会には中体連の上位チームも参加している。

○第三十三回全京都少年軟式野球選手権大会
京都ベアーズが西京ビッグスターズを破りV。近畿でも滋賀、大阪チームを連破し優勝を飾る。

○近畿少年秋季大会
(第九回大会長杯)
西京ビッグスターズが近畿へ進出し奈良の新庄中に勝ち(今春の全国大会出場権を得る)。門真ビッグドリームも破るも滋賀ユナイテッドに惜敗しV成らず。

◆京都府中学校体育連英◆
○第三十八回全国大会

江陽(丹後地区代表)綾部(中丹)、亀岡(口丹)、桂、嵯峨、花丹、双ヶ丘(京都)、広野、勝山(山城)、峰山(開成地、丹後二位)の十校で府代表を決める第百二十九回大会で、桂が勝山を破りV。

両校が近畿予選へ進出、勝山は初戦で敗れるも桂は松洋(和歌山)、西脇南(兵庫)、天理(奈良)を連破し見事初優勝。全国から二十五チーム出場の本大会へ初出場するも初戦で敗れる。

○第二十四回全国選手権大会
府予選一位の京・相楽は一回戦で敗退したが、同二位の京都フレンド少年硬式野球協会はベスト8まで進出も神戸須磨クラブに破れる。

◆日本リトルシニア

現在、府内で九チーム二四五名がプレイしている。

◆硬式◆
○第四十六回春季全国大会

が福知山市の日新を三対二で破って優勝を飾る。

◆京都軟式野球連盟
二十三名チームがクラブチームとして活動している大会には中体連の上位チームも参加している。

○第三十三回全京都少年軟式野球選手権大会
京都ベアーズが西京ビッグスターズを破りV。近畿でも滋賀、大阪チームを連破し優勝を飾る。

○近畿少年秋季大会
(第九回大会長杯)
西京ビッグスターズが近畿へ進出し奈良の新庄中に勝ち(今春の全国大会出場権を得る)。門真ビッグドリームも破るも滋賀ユナイテッドに惜敗しV成らず。

◆京都府中学校体育連英◆
○第三十八回全国大会

江陽(丹後地区代表)綾部(中丹)、亀岡(口丹)、桂、嵯峨、花丹、双ヶ丘(京都)、広野、勝山(山城)、峰山(開成地、丹後二位)の十校で府代表を決める第百二十九回大会で、桂が勝山を破りV。

両校が近畿予選へ進出、勝山は初戦で敗れるも桂は松洋(和歌山)、西脇南(兵庫)、天理(奈良)を連破し見事初優勝。全国から二十五チーム出場の本大会へ初出場するも初戦で敗れる。

○第二十四回全国選手権大会
府予選一位の京・相楽は一回戦で敗退したが、同二位の京都フレンド少年硬式野球協会はベスト8まで進出も神戸須磨クラブに破れる。

◆日本リトルシニア

現在、府内で九チーム二四五名がプレイしている。

◆硬式◆
○第四十六回春季全国大会

が福知山市の日新を三対二で破って優勝を飾る。

◆京都軟式野球連盟
二十三名チームがクラブチームとして活動している大会には中体連の上位チームも参加している。

○第三十三回全京都少年軟式野球選手権大会
京都ベアーズが西京ビッグスターズを破りV。近畿でも滋賀、大阪チームを連破し優勝を飾る。

○近畿少年秋季大会
(第九回大会長杯)
西京ビッグスターズが近畿へ進出し奈良の新庄中に勝ち(今春の全国大会出場権を得る)。門真ビッグドリームも破るも滋賀ユナイテッドに惜敗しV成らず。

◆京都府中学校体育連英◆
○第三十八回全国大会

江陽(丹後地区代表)綾部(中丹)、亀岡(口丹)、桂、嵯峨、花丹、双ヶ丘(京都)、広野、勝山(山城)、峰山(開成地、丹後二位)の十校で府代表を決める第百二十九回大会で、桂が勝山を破りV。

両校が近畿予選へ進出、勝山は初戦で敗れるも桂は松洋(和歌山)、西脇南(兵庫)、天理(奈良)を連破し見事初優勝。全国から二十五チーム出場の本大会へ初出場するも初戦で敗れる。

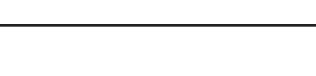
○第二十四回全国選手権大会
府予選一位の京・相楽は一回戦で敗退したが、同二位の京都フレンド少年硬式野球協会はベスト8まで進出も神戸須磨クラブに破れる。

◆日本リトルシニア

現在、府内で九チーム二四五名がプレイしている。

破れる。
(ジュニアの部)
三十七チームが加盟
○第四十五回中体連春の大会
三十七チームが出場し葛野ジュニアスポーツ団が終野ブラックジャガーを破り優勝を飾る。

○第四十八回中体連夏の大会
三十八チームが出場し春に続いて葛野が羽束師ラビットを破り優勝。



二条城北少年野球部

第九回村田兆治旗大会には予選ベスト4の西陣中央スポーツ少年団、ベスト8の大枝イギリス、前年戦績からの吉田タイガースの三チームが出場。西陣中央が初戦を突破した。

第四回野球のまち阿南全国大会には洛北フェニックスが出場し二試合勝ち抜いてベスト8に進出した。

◆京都府スポーツ少年団◆
○第三十八回全国スポーツ少年団大会

府代表として二条城北少年野球部が近畿へ進出するも初戦にて敗退し本大会へは出場ならず。

各連盟、協会、チームのご協力ありがとうございました。